

人生の節目 見守られ、見守り。

第160号 2020年3月23日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

人生の節目

妊娠5カ月目の戌の日に、岩田帯と呼ばれる腹帯を巻く「帯祝い」と呼ばれる行事があるそうです。そして、赤ちゃんが生まれて7日目の夜を「お七夜」と言い、名前を決め、名前を書いた紙を神棚や床の間の柱に飾り、夫婦と両家の両親が集まり出生のお祝いをするそうです。

その後は、お宮参り、お食い初め、初誕生祝い、初節句、七五三、十三詣り、成人式と続き、長寿のお祝いとして、還暦、古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿があります。

ちょうど今の時期だと、卒園式や卒業式、入学や就職。
人によって様々な節目を迎える時期であることを感じます。

そして先日、祖母が亡くなりました、享年92歳でした。
明るく、よく喋る祖母で、子どもの頃、田舎のばあちゃん家に行くのが楽しみで、子どもの頃の思い出がたくさん詰まっています。

祖母の死はとても悲しいことですが、生前祖母は「早くおじいさんの所へ行きたい」とも言っていました。祖父が亡くなり18年、祖母にとっては長い時間だったかもしれません。

でも、家族にとっては祖母が長生きしてくれたことは幸せな時間でもありました。生まれる時は家族に見守られ生まれ、亡くなる時は家族みんなで見守り、見守られ、人の一生はその繰り返しなのかもしれません。春の花がいっぱい咲く暖かな中、祖母は旅立って行きました。ばあちゃん、ありがとう。

あなたが生まれたとき、あなたは泣いていて周りの人達は笑っていたでしょう。だから、いつかあなたが死ぬとき、あなたが笑っていて、周りの人達が泣いている。そんな人生を送りなさい。(ネイティブアメリカンの教え)

